



## 第十七卷

今年も残り僅かと相成り會員諸君も何かと御多忙と存じ候。本誌も是にて漸く第八年の生活に取り掛る可く、今より筆硯を清めて明治四十一年の元旦を迎へ申す可で、新年また候はい更に一層の勇氣を以て益事業の擴張に盡したくと存じ候。顧みれば過去七年の星霜恙なく生ひ立ち参り候は偏に會員諸君の御盡力の致す所と幹事一同の深く感謝する所に御座候。時下益幼兒教育の振興を來す可き時期に有之爾今一層の御精闢あらんことを偏に念じ上候。○ 勿々敬具